

平成30年度

# どうなん・追分シーニックバイウェイルート 活動報告

1. ルート運営活動計画の進捗状況
2. 活動団体の活動状況及び課題
3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題
4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: どうなん追分シーニックバイウェイルート	報告者: どうなん追分シーニックバイウェイ代表 北島孝雄	報告年月日: 2019/3/31
----------------------------	------------------------------	------------------

ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	H29					
		活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	総括
景観 ・ビュースポットの発信と維持活動	「ビューポイントパワーアップ」プロジェクト	どうなん追分シーニック清掃活動 (松前道の駅周辺清掃活動)	どうなん追分SBWR 道の駅北前船松前 松前観光協会	平成30年4月7日	11名	A-1	第1回目ルートの秀逸な道区間ということで行った。継続して開催していく予定
		どうなん追分シーニック清掃活動 (江差椴川沿清掃活動)	どうなん追分SBWR 江差観光コンベンション協会	平成30年4月22日	30名	A-1	第6回目となった。継続して行われており、不法投棄が減少した成果もみられている。
		どうなん追分シーニック清掃活動 (木古内R228沿清掃活動)	どうなん追分SBWR 木古内町観光協会 咸臨丸とサラキ岬に夢見る会	平成30年4月22日	90名	A-1	シーニックがかかわってから第3回目となりサラキ岬のほかにもR228沿い、みそぎ浜等も清掃。
		チューリップフェア2018	どうなん追分SBWR 木古内町観光協会 咸臨丸とサラキ岬に夢見る会	5/3～5/13	不明 (主催者50名 来客約1500名)	A-2	7月に行う球根掘と10月に行う植栽が花開くを見ることのできるのがこのフェア。知名度も広がってきている。
		サラキ岬R228沿いチューリップの植栽活動 (サラキ岬球根掘起し)	どうなん追分SBWR 木古内町観光協会 咸臨丸とサラキ岬に夢見る会	平成30年7月28日	70名	A-2	毎年暑い時期に行うので重労働。昨年あたりから参加者が増えた。
		サラキ岬R228沿いチューリップの植栽活動(サラキ岬球根植え)	どうなん追分SBWR 木古内町観光協会 咸臨丸とサラキ岬に夢見る会	平成30年10月27日	110名	A-2	今年は大雨の中行った。大変だったが大勢で一斉に短時間で完了させた。
		いにしえ街道のとくみ (第8回江差北前のひな語り)	北前ひな語り実行委員会 江差歴まち商店街協同組合	2/9～3/17	約500名	C-1	今年度も金婚式等の特別なイベントも開催
	「どうなん追分シーニックdeナイト」プロジェクト	どうなん追分シーニックdeナイト (木古内チューリップフェア2018)	どうなん追分SBWR 木古内町観光協会・咸臨丸とサラキ岬に夢見る会	平成30年5月5日	雨天中止	A-3	今年度は大雨のため中止となった。
		どうなん追分シーニックdeナイト (江差夕焼けコンサート・ガイアナイト2018)	どうなん追分SBWR 江差商工会・江差歴まち商店街協同組合ほか	平成30年7月26日	1000名	A-3	例年通りビアガーデンも含めて実施された。
		どうなん追分シーニックdeナイト (どうなん道の駅連携事業)	どうなん追分SBWR	平成30年12月23日	200名	A-3	今年度どうなん道の駅連携事業により5町同時開催で閑散期の道の駅の活性化ということでとり行った。
		どうなん追分シーニックdeナイト (江差年越し)	どうなん追分SBWR	平成30年12月31日	300名	A-3	例年とおり小規模ではあるが欠かさず行っている。
		どうなん追分シーニックdeナイト (みそぎ祭りみそぎキャンドル)	どうなん追分SBWR	平成30年1月14日	350名	A-3	今年度もたくさんの参加者のちょうちん行列の道をキャンドルで飾った。

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: どんなん追分シーニックバイウェイルート		報告者: どんなん追分シーニックバイウェイ代表 北島孝雄					報告年月日: 2019/3/31	
H29								
地域づくり	・どんなんの「道」の宝探し、歴史・文化をたどる連携と活用	「どんなんフットパス・ロード」プロジェクト	道の駅上ノ国もんじゅリニューアル・フットパスイベント	上ノ国町観光振興公社	平成30年4月1日～3日	50名	C-2	吉本興業の人気芸人と巡るなかなかない特別なイベント、地域のフットパスを活かした楽しいイベントとなった。
			第26回殿様街道探訪ウォーク春	福島町千軒地域活性化実行委員会	平成30年5月3日	雨天中止	B-1	今年度は大雨のため中止となった。
			どんなんサイクル事業 検討試走実施	どんなん追分SBWR 歴史文化を活かした北海道サイクルツーリズム推進協議会	平成30年6月15日～17日	12名	B-3	今年度ルートの主な事業として行った。
			フットパスマップ完成各所配布	どんなん追分SBWR	H30年8月	-	B-2	昨年制作したが制作依頼したところが営業停止になってしまい3月完成予定が8月になる。
			どんなんサイクル事業 どんなん道の駅連携事業 道の駅サイクルサイン等設置	どんなん追分SBWR 歴史文化を活かした北海道サイクルツーリズム推進協議会	10月上旬	-	B-3	今年度ルートの主な事業として行った。
			どんなんサイクル事業 モニターツアー実施	どんなん追分SBWR 歴史文化を活かした北海道サイクルツーリズム推進協議会	平成30年10月6日～8日	13名	B-3	今年度ルートの主な事業として行った。
			第26回殿様街道探訪ウォーク秋	福島町千軒地域活性化実行委員会	平成30年10月21日	85名	B-1	今回で26回目。この活動が当ルートの柱の1つ。
			第18回学習会(全体会議時)(サイクルツーリズムセミナー)	どんなん追分SBWR 歴史文化を活かした北海道サイクルツーリズム推進協議会	平成30年12月12日	45名	B-3	今年度ルートの主な事業として行った。
		「歴史の道掘り起こし」プロジェクト	第26回殿様街道探訪ウォーク春	福島町千軒地域活性化実行委員会	平成30年5月3日	雨天中止	B-1	今年度は大雨のため中止となった。
			どんなんサイクル事業 検討試走実施	どんなん追分SBWR 歴史文化を活かした北海道サイクルツーリズム推進協議会	平成30年6月15日～17日	12名	B-3	今年度ルートの主な事業として行った。
			フットパスマップ完成各所配布	どんなん追分SBWR	H30年8月	-	B-2	昨年制作したが制作依頼したところが営業停止になってしまい3月完成予定が8月になる。
			どんなんサイクル事業 どんなん道の駅連携事業 道の駅サイクルサイン等設置	どんなん追分SBWR 歴史文化を活かした北海道サイクルツーリズム推進協議会	10月上旬	-	B-3 B-4	今年度ルートの主な事業として行った。
			どんなんサイクル事業 モニターツアー実施	どんなん追分SBWR 歴史文化を活かした北海道サイクルツーリズム推進協議会	平成30年10月6日～8日	13名	B-3	今年度ルートの主な事業として行った。
			第26回殿様街道探訪ウォーク秋	福島町千軒地域活性化実行委員会	平成30年10月21日	90名	B-1	今回で26回目。この活動が当ルートの柱の1つ。
第18回学習会(全体会議時)(サイクルツーリズムセミナー)	どんなん追分SBWR 歴史文化を活かした北海道サイクルツーリズム推進協議会	平成30年12月12日	45名	B-3	今年度ルートの主な事業として行った。			

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: どうなん追分シーニックバイウェイルート		報告者: どうなん追分シーニックバイウェイ代表 北島孝雄					報告年月日: 2019/3/31	
		H29						
地域づくり	・交流人口を高める人材の育成	「おもてなしガイド」プロジェクト	専門学識者による道の駅視察 (どうなん道の駅連携事業)	どうなん追分SBWR	8/9～8/12	20名	B-4	今年度ルートの主な事業として行った。
			ヒアリング及び意見交換会 (どうなん道の駅連携事業)	どうなん追分SBWR	9月初旬 平成30年11月28日	9町 10名	B-4	今年度ルートの主な事業として行った。
			第18回学習会(全体会議時) (サイクルツーリズムセミナー)	どうなん追分SBWR 歴史文化を活かした北海道サ イクルツーリズム推進協議会	平成30年12月12日	45名	B-3	今年度ルートの主な事業として行った。
	・情報共有と情報受発信の相乗効果	-	FB(SNSの活用)	どうなん追分SBWR	随時	フォロアー 592名	-	地道ではあるがフォロアーを増やしなが ら適宜にイベント情報等を発信して いる。
フットパスマップ完成各所配布			どうなん追分SBWR	H30年8月	-	B-2	昨年制作したが制作依頼したところ が営業停止になってしまい3月完成 予定が8月になる。	
専門学識者による道の駅視察 (どうなん道の駅連携事業)			どうなん追分SBWR	8/9～8/12	20名	B-4	今年度ルートの主な事業として行った。	
ヒアリング及び意見交換会 (どうなん道の駅連携事業)			どうなん追分SBWR	9月初旬 平成30年11月28日	9町 10名	B-4	今年度ルートの主な事業として行った。	
観光	・北海道新幹線開業に向けた対応と取組	「どうなん追分シーニックdeナイト」プロジェクト	どうなん追分シーニックdeナイト (どうなん道の駅連携事業)	どうなん追分SBWR	平成30年12月23日	150名	A-3 B-4	今年度どうなん道の駅連携事業に より5町同時開催で閑散期の道の 駅の活性化とすることでとり行 った。
		「どうなんフットパスロード」プロジェクト	どうなんサイクル事業 検討試走実施	どうなん追分SBWR 歴史文化を活かした北海道サ イクルツーリズム推進協議会	平成30年6月15日～17日	12名	B-3	今年度ルートの主な事業として行 った。
			どうなんサイクル事業 散走in江差	どうなん追分SBWR 歴史文化を活かした北海道サ イクルツーリズム推進協議会	平成30年7月21日	14名	B-3	今年度ルートの主な事業として行 った。
			どうなんサイクル事業 どうなん道の駅連携事業 道の駅サイクルサイン等設置	どうなん追分SBWR 歴史文化を活かした北海道サ イクルツーリズム推進協議会	10月上旬	-	B-3 B-4	今年度ルートの主な事業として行 った。
			どうなんサイクル事業 モニターツアー実施	どうなん追分SBWR 歴史文化を活かした北海道サ イクルツーリズム推進協議会	平成30年10月6日～8日	13名	B-3	今年度ルートの主な事業として行 った。
			第18回学習会(全体会議時) (サイクルツーリズムセミナー)	どうなん追分SBWR 歴史文化を活かした北海道サ イクルツーリズム推進協議会	平成30年12月12日	45名	B-3	今年度ルートの主な事業として行 った。
		「おもてなしガイド」プロジェクト	専門学識者による道の駅視察 (どうなん道の駅連携事業)	どうなん追分SBWR	8/9～8/12	20名	B-4	今年度ルートの主な事業として行 った。
			ヒアリング及び意見交換会 (どうなん道の駅連携事業)	どうなん追分SBWR	9月初旬 平成30年11月28日	9町 10名	B-4	今年度ルートの主な事業として行 った。
「どうなんの食北のどんぶり」プロジェクト	江差いこしえバル街	江差バル実行委員会 江差歴まち商店街協同組合 どうなん追分SBWR	平成30年9月22日	350名	C-2	今回初めて江差にて開催。生憎の 悪天候だったがたくさんの方の 来訪があった。来年度も継続予 定。		

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: どうなん追分シーニックバイウェイルート		報告者: どうなん追分シーニックバイウェイ代表 北島孝雄					報告年月日: 2019/3/31	
			H29					
観光	・地域の食と産業を楽しむ体験観光づくり	「教育体験観光呼び込み」プロジェクト	いにしえ街道のとりくみ (江差いにしえ街道花嫁行列)	江差歴まち商店街協同組合	平成30年5月3日	500名	C-1	雨天のため今回は初めて室内で実施。また、違った良さがあって好評だった。
			千軒そば花観賞会	福島町千軒地域活性化実行委員会	平成30年8月26日	200名	C-1	町のフォトコンテストを実施しているためカメラマンが多数集まるイベントとなっている。
			いにしえ街道のとりくみ (第8回江差北前のひな語り)	北前ひな語り実行委員会 江差歴まち商店街協同組合	2/9～3/17	500名	C-1	今年度も金婚式等の特別なイベントも開催
	・各地域の観光イベントの連携	-	道の駅上ノ国もんじゅリニューアル・フットパスイベント	上ノ国町観光振興公社	平成30年4月1日～3日	50名	C-2	吉本興業の人気芸人と巡るなかなかない特別なイベント、地域のフットパスを活かした楽しいイベントとなった。
			青函フェリー×JAFコラボ周遊促進キャンペーン	青函フェリー・JAF どうなん追分SBWR	6/1～9/30	-	C-2	包括連携の青函フェリー・JAFのプロモーションを活用させてもらい周遊促進となった。
			江差いにしえバル街	江差バル実行委員会 江差歴まち商店街協同組合 どうなん追分SBWR	平成30年9月22日	350名	C-2	今回初めて江差にて開催。生憎の悪天候だったがたくさんの方の来訪があった。来年度も継続予定。

# どうなん・追分シーニックバイウェイルート

Donan-Oiwake Scenic Byway Route

活動名：ビューポイントパワーアッププロジェクト①  
どうなん追分シーニック清掃活動

- 【概要】 GW道南地域に桜が咲く季節にあわせ、一年で一番観光客が多い時節、GW前約2週間をシーニック清掃週間と位置づけルートで景観づくりをしている。江差町・木古内町での取組みが定着してきており、エリアの秀逸な道松前町でも今年開催した。ルートとして継続的な活動となってきている。今後は、他の地域や一般の参加を促進し活動連携による拡大を引続き推進したい。
- 【日時】 江差町 平成30年4月22日（日）・木古内町 平成30年4月22日（日）  
松前町 平成30年4月7日（土）
- 【場所】 江差町椴川駐車場周辺（R228沿い）・松前町道の駅北前船松前周辺（R228沿い）  
木古内町サラキ岬、みそぎ浜、大釜谷駐車場、木古内の坊（R228沿い）
- 【実施団体】 江差観光コンベンション協会ほか ・ 木古内町観光協会ほか ・ 松前観光協会ほか
- 【参加人数】 江差30名（主催者20名、一般参加10名）・木古内90名（主催者50名、一般参加40名）・松前11名（主催者10名、一般参加1名）



江差椴川 海岸側



木古内サラキ岬



松前 道の駅周辺

# どうなん・追分シーニックバイウェイルート

Donan-Oiwake Scenic Byway Route

活動名：ビューポイントパワーアッププロジェクト②  
木古内町サラキ岬R228沿いチューリップの植栽活動

- 【概要】 国道228号沿い木古内町サラキ岬では咸臨丸の史実の基づく観光空間づくりを行っており、咸臨丸がオランダで作られた船であることからチューリップの植栽を行っている。5月に満開を迎えるために7月には球根の掘起し、10月には球根植えを行っており、道路景観づくり、地域づくりとして活動を推進している。
- 【日時】 チューリップフェア 平成30年5月3日～13日  
球根掘起し作業 平成30年7月28日 球根植え作業 平成30年10月27日
- 【場所】 木古内町サラキ岬
- 【主催】 咸臨丸とサラキ岬に夢みる会・木古内町観光協会
- 【参加人数】 チューリップフェア 不明（主催者50名、一般参加約1500名）  
球根掘起し 70名（主催者30名 一般参加40名）  
球根植え 110名（主催者45名 一般参加65名）



チューリップフェア5月



球根掘起し作業 7月



球根植え作業 10月

# どうなん・追分シーニックバイウェイルート

Donan-Oiwake Scenic Byway Route

活動名：どうなん追分シーニックdeナイトプロジェクト  
どうなん追分シーニックdeナイト・どうなん道の駅連携事業

【概要】「キャンドルのあかりが繋ぐ道」をテーマに年間通して、主にイベントと併催することで沿道景観づくりの演出をしている。今年度は道の駅連携事業の中で、5カ所の道の駅で冬期の集客を目指して、灯りのイベント開催をした。エリア内でのシーニックのあかりの活動は今後も継続的に活動を実施し、拡大にも繋がりたい。下記のほか7月26日江差ガイアナイト2018・12月31日江差年越しキャンドルも開催されている。

■どうなん追分シーニックdeナイト【日時】平成30年12月23日（日）

【場所】道の駅あさぶ・えさし海の駅開陽丸・道の駅上ノ国もんじゅ・道の駅みそぎの郷きこない  
道の駅しりうち

【参加人数】計200名（主催者50名 一般参加150名）

■木古内町みそぎキャンドル【日時】平成31年1月14日（月祝）【場所】佐女川神社・木古内駅前  
【主催】木古内町観光協会他

【参加人数】500名（主催者50名 一般参加450名）



5町連携シーニックdeナイト



5町連携シーニックdeナイト



木古内みそぎキャンドル



# どうなん・追分シーニックバイウエイルート

Donan-Oiwake Scenic Byway Route

活動名：どうなんフットパスロード・歴史の道掘り起しプロジェクト  
殿様街道探訪ウォーク

- 【概要】 継続事業として春（雨天中止）・第26回秋の殿様街道探訪ウォークを開催。毎回テーマや松前神楽の演目を変えているためリピーターも多い。また、昼食の千軒十割そばはここでしか味わえない一品。今年度は没後200年となる伊能忠敬の像を建立した北海道測量開始記念公園が福島町にでき一層力をいれていきたい事業のひとつ。
- 【日時】 春：平成30年5月3日（木・祝） 秋：平成30年10月21日（日）
- 【場所】 福島町千軒岳
- 【主催】 福島町千軒地域活性化実行委員会・福島町観光協会
- 【参加人数】 春：雨天中止  
秋：85名（主催者50名、一般参加35名）



殿様街道探訪ウォーク 春



殿様街道探訪ウォーク 秋



松前神楽奏上（毎回演目別）

# どうなん・追分シーニックバイウエイルート

Donan-Oiwake Scenic Byway Route 活動名：どうなんフットパスロードプロジェクト・歴史の道掘り起しプロジェクト  
 どうなんフットパス・ロード及び歴史の道掘り起し資源調査整備推進事業

【概要】 平成29年度、小磯修治先生を招き、学習会を開催したほか、エリア地域の視察を検証して頂き、各町のフットパスロードマップを完成させた。ルートの自治体観光協会・道の駅・活動団体ほかに配布し周知を図った。各町を巡ってもらい（点）をシーニックバイウエイルートの連携で（線）にしていくとくみ。



どうなんフットパス渡島エリア



どうなんフットパス檜山エリア



各町の詳細

# どうなん・追分シーニックバイウエイルート

Donan-Oiwake Scenic Byway Route 活動名：どうなんフットパスロードプロジェクト・歴史の道掘り起しプロジェクト  
おもてなしガイドプロジェクト どうなんサイクルツーリズム推進事業

- 【概要】 今年度、北海道観光振興機構から広域観光推進事業予算の支援を受け、当ルートが主体となって歴史・文化を活かした南北海道サイクルツーリズム推進協議会を設立し①試走②モニターツアー③セミナー④先進地視察⑤プロモーション⑥検討会⑦関係事業支援の7つの項目について実施開催をした。
- 【日時】 ①6/15～17 ②10/6～8 ③12/12・1/16 ④9/22～25・10/27～28・1/25～27 ⑥7/18・2/27 ⑦7/19～21・10/31
- 【場所】 ①②木古内・知内・福島・松前・上ノ国・江差 ③木古内町公民館 ④道内：TEPPENRAIDO旭川～宗谷・道外：遠州ライド静岡・海外：台湾 ⑥函館市内 ⑦函館～江差・江差
- 【参加人数】 ①試走：12名 ②ツアー：13名 ③セミナー：44名 ⑦散走 14名



試走・ツアー開催



セミナー開催

散走in江差 日本で最も美しい村  
～サイクリング・ブローカー・ナビゲイター2018～  
2018.7.21



江差のサイクルコースは走行距離9.7km 走行時間は90分程度です。江差の歴史・文化に触れながらサイクリングを楽しみましょう！

日程 2018年7月21日(土) 10:00集合～15:00解散  
場所 えさし海の駅南丸(集合・解散)～江差町一円  
参加費 2,000円 (入館料・昼食・保険)  
※ 7月27日(火)

散走in江差開催

# どうなん・追分シーニックバイウエイルート

Donan-Oiwake Scenic Byway Route 活動名：どうなんフットパスロードプロジェクト・おもてなしガイドプロジェクト  
どうなん道の駅連携推進事業

- 【概要】 ルートで昨年度中心に行ったフットパス事業と今年度から中心に行っているサイクルツーリズムの拠点として「道の駅」の連携について意識を高め、恵まれた設置条件を活かし、観光拠点として魅力ある地域の情報発信等について①専門学識者による視察②ヒアリング・ワークショップ意見交換会開催③観光拠点連携サイクルサイン等の設置④連携事業どうなん追分シーニックdeナイトを行った。
- 【日時】 ①8/10～12 ②ヒアリング9月上旬・ワークショップ意見交換会11/28  
③10月上旬 ④12/23
- 【場所】 ①8町のエリア全ての道の駅 ②ヒアリング：9町道の駅及び自治体・ワークショップ意見交換会：上ノ国町 ③9町道の駅及び江差（海の駅）・奥尻（フェリーターミナル） ④あっさぶ・えさし（海の駅）・上ノ国もんじゅ・みそぎの郷きこない・しりうち
- 【参加人数】 ④参加人数 150名



専門学識者による視察



サインボードの設置



どうなん追分シーニックdeナイト

# どうなん・追分シーニックバイウェイルート

Donan-Oiwake Scenic Byway Route

活動名：教育体験観光呼び込みプロジェクト  
いにしえ街道のとりくみ他

【概要】江差町いにしえ街道では景観と文化を活かした「花嫁行列」や「江差北前のひな語り」等体験型観光・イベントづくりを行っている。多様な試みを行っている中、着物を着付けて街歩きや職人技術を活かした木工体験等、街の個性を活かしたとりくみの広がりを見せている。また、福島町千軒そば花観賞会についても芋掘り体験などができ、今年度国の重要無形文化財指定となった松前神楽をそば花畑で観賞でき年々人気が増している。

- 江差いにしえ街道花嫁行列【日時】平成30年5月3日（木・祝）【場所】江差いにしえ街道  
【主催】歴まち商店街協同組合ほか 雨天より室内【参加人数】50名（主催者30名、一般参加30名）
- 江差北前のひな語り【日時】平成31年2月9日～3月17日【場所】江差いにしえ街道・江差一円  
【主催】歴まち商店街協同組合ほか 【参加人数】500名（主催者50名、一般参加450名）
- 千軒そば花観賞会 【日時】平成30年8月26日 【場所】福島町千軒  
【主催】福島町千軒地域活性化実行委員会 【参加人数】250名（主催者50名、一般参加200名）



江差いにしえ街道花嫁行列



江差北前のひな語り



千軒そば花観賞会

# どうなん・追分シーニックバイウェイルート

Donan-Oiwake Scenic Byway Route

活動名：新たな取組・各地域の観光イベント連携  
ルート・上ノ国町・いにしえ街道のとりくみ

【概要】 ルートのあらゆる事業と連携するものであるが、今年度新たな試みとして行われたイベントについて、今年度限りのもの、今後の継続が期待されるものと分かれるが、プロジェクトや地域性を考慮したルートの取組として支援・協力を行った。

## ■道の駅上ノ国もんじゅリニューアル・フットパスイベント

【日時】平成30年4月1日（日）～3日（火）【場所】道の駅上ノ国もんじゅ

【主催】上ノ国町観光振興公社 【参加人数】50名（主催者10名 一般参加者40名）

## ■青函フェリー×JAF×どうなん追分シーニックバイウェイルートコラボ周遊促進キャンペーン

【期間】平成30年6月1日～9月30日【場所】ルート全域【主催】青函フェリー【参加人数】不明

## ■江差いにしえバル街 【日時】平成30年9月22日（土）【場所】江差いにしえ街道一円

【主催】江差バル街実行委員会 【参加人数】350名（主催者100名、一般参加250名）



道の駅上ノ国リニューアルフットパスイベント

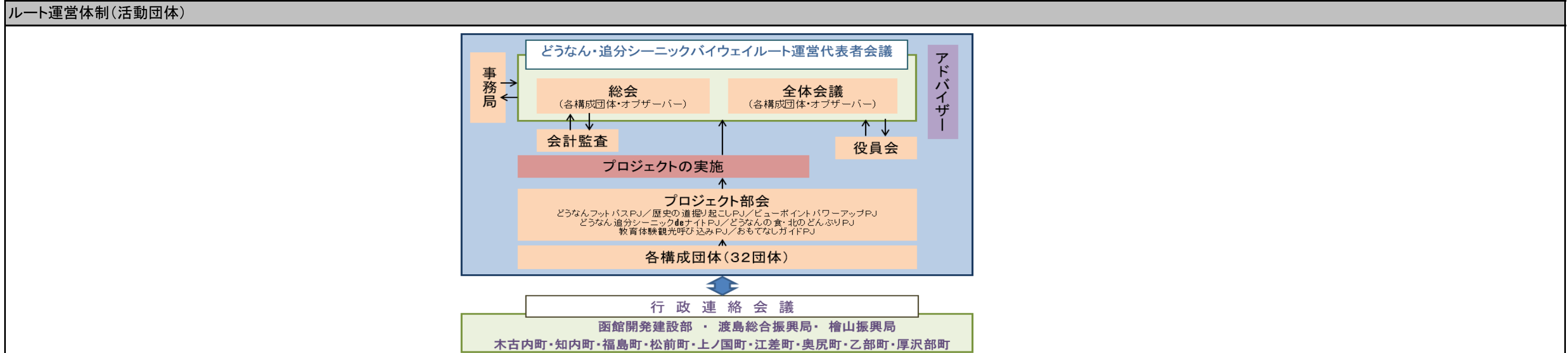
青函フェリー×JAFコラボ

江差いにしえバル街

3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題

ルート名称:どうなん追分シーニックバイウェイルート	報告者:どうなん追分シーニックバイウェイルート代表 北島孝雄	報告年月:2019/3/31
---------------------------	--------------------------------	----------------

**活動団体**  
 木古内商工会／木古内町観光協会／咸臨丸とサラキ岬に夢みる会／木古内町駅前中央商店街組合／知内商工会／知内観光協会／フロンティア21／福島町商工会／福島町観光協会  
 福島町千軒地域活性化実行委員会／かがり火コンサート実行委員会／松前商工会／松前観光協会／江差町歴まち商店街協同組合／江差商工会／江差観光コンベンション協会  
 江差追分会／ハートランドフェリー(株)／上ノ国町商工会／上ノ国町観光協会／厚沢部商工会／厚沢部町観光協会／乙部商工会／奥尻商工会／奥尻島観光協会  
 函館バス(株)／木古内公益振興社／大宇工業(道の駅北前船松前(指定管理者))／しりうち観光推進機構／どうなんチャリンコ倶楽部／乙部町観光協会／道南いさりび鉄道株式会社



	基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
地域の運営に関わる事項	ルート運営代表者会議			総会 6/12						全体会議 12/12				
	役員会				第1回 7/4								第2回 3/18	
	学習会・勉強会									学習会 12/12				
	部会		協議会総会 4/19		第1回幹事会 6/12	第1回検討会 7/18		第2回幹事会 9/3					第2回検討会 2/27	
	その他			5/22事務局 打合		7/28事務局 打合			10/27事務局 打合	11/20事務局 打合		1/14事務局 打合	2/22事務局 打合	
ルート名称:どうなん追分シーニックバイウェイルート										報告年月:2019/3/31				

	基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
行政の運営に関わる事項	行政連絡会議の実施			6/12 (オブザーバー 参加)	7/4 (オブザーバー 参加)					12/12			3/18 (オブザーバー 参加)	

4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称: どうなん追分シーニックバイウエイルート	報告者: 函館開発建設部	報告年月: 2019/3/31
----------------------------	--------------	-----------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	平成30年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
景観	ビュースポットの発信と維持活動	どうなん追分シーニック清掃活動 (松前道の駅周辺清掃活動)	平成30年4月7日 ※シーニック清掃活動 期間4/15~4/29 (デッキリニューアルオープンのため早期開催)	函館開発建設部・松前町	国道228号沿い江差町榎川で行われた清掃活動に参加。また、春の全道一斉活動として、HPによる広報を行った。	行政連絡会議のネットワークを活かしたさらなる活動PR、参加呼びかけを行っていききたい。	A-1
		どうなん追分シーニック清掃活動 (江差榎川沿清掃活動)	平成30年4月22日 ※シーニック清掃活動 期間4/15~4/29	函館開発建設部・江差町	国道228号沿い江差町榎川で行われた清掃活動に参加。また、春の全道一斉活動として、HPによる広報を行った。		A-1
		どうなん追分シーニック清掃活動 (木古内R228沿清掃活動)	平成30年4月22日 ※シーニック清掃活動 期間4/15~4/29	函館開発建設部・木古内町	国道229号沿い江差町榎川で行われた清掃活動に参加。また、春の全道一斉活動として、HPによる広報を行った。		A-1
		サラキ岬R228沿いチューリップの植栽活動 (サラキ岬球根掘起し)	平成30年7月28日	函館開発建設部・木古内町	国道228号沿い木古内町サラキ岬で行われた球根掘起しに参加および広報支援を実施。更なる人的支援が必要。		A-2
		サラキ岬R228沿いチューリップの植栽活動 (サラキ岬球根植え)	平成30年10月27日	函館開発建設部・木古内町	国道228号沿い木古内町サラキ岬で行われた球根掘起しに参加および広報支援を実施。更なる人的支援が必要。		A-2
		どうなん追分シーニックdeナイト (みそぎ祭りみそぎキャンドル)	平成31年1月14日	函館開発建設部・渡島総合振興局・JAF・木古内町	木古内町で行われ行政連絡会議を通じた活動への参加および広報など支援を実施。活動への継続的な参加協力が必要。		A-3
		どうなん追分シーニックdeナイト (どうなん道の駅連携5町同時開催)	平成30年12月23日	函館開発建設部・渡島総合振興局・木古内町	広報支援を実施。冬期開催であったため参加への協力体制が確立されなかった。		A-3
地域づくり	交流人口を高める人材の育成	専門学識者による道の駅視察 (どうなん道の駅連携事業)	8/9~8/12	函館開発建設部・木古内町ほか8町	石田先生、小林先生をお招きしたどうなん・追分シーニックバイウエイルート視察に随行した。		B-4
		第18回学習会(全体会議時) (サイクルツーリズムセミナー)	平成30年12月12日	函館開発建設部・檜山振興局、JAF、木古内町、知内町、松前町、福島町、上ノ国町ほか	ルート代表者会議(全体会議)と併せて行われた学習会(サイクルツーリズム)での講演を実施するとともに、今後、活動に向けルートの意識共有を図っている。		B-3
	情報共有と情報受発信の相乗効果	FB(SNSの活用)	随時	函館開発建設部・函館運輸支局・渡島総合振興局・檜山振興局・各町自治体ほか	情報共有を図りながら情報の発信による活動支援。		-



	ルート(エリア)運営活動計画方針	平成30年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No	
観光	北海道新幹線に向けた対応と取組	どうなんサイクル事業 モニターツアー実施	平成30年10月6日～8日	歴史・文化を活かした 南北海道サイクルツーリズム 推進協議会	モニターツアーに関する広報活動やパンフレットの配布などによる 情報提供を実施した。 今後は、サイクルツーリズムの推進に向けた更なる情報発信が必要。	行政連絡会議のネットワークを活かしたさらなる活動PR、参加呼びかけを行っていきたい。	B-3	
		第18回学習会(全体会議時) (サイクルツーリズムセミナー)	平成30年12月12日	函館開発建設部、檜山振興局、JAF、木古内町、知内町、松前町、福島町、上ノ国町ほか	ルート代表者会議(全体会議)と併せて行われた学習会(サイクルツーリズム)での講演を実施するとともに、今後、活動に向けルートの意識共有を図っている。		B-3	
	地域の食と産業を楽しむ体験観光づくり							
	各地域の観光イベントの連携							